ご案内

医療法人社団　博慈会
青葉さわい病院

外来医師担当表

青葉さわい病院　外来医師担当表　4月1日より

整形外科	月	火	水	木	金	土※
午前 9:00～12:00	荒尾　誠	澤井　博司 （理事長）	澤井　博司 （理事長）	加藤　章嘉	荒尾　誠 【予約制】 齋藤 滋（第1・3・4週） （足の外科専門外来）	荒尾 誠（第1・3・5週） 加藤 章嘉（第2・4週） 【予約制】 齋藤 滋（第1・3週） （足の外科専門外来）
午後 2:00～5:30	澤井　崇博 （病院長）	加藤　章嘉	加藤　章嘉	澤井　崇博 （病院長）	澤井　崇博 （病院長）	救急対応

内科	月	火	水	木	金	土※
午前 9:00～12:00	岡﨑　優	泉山　仁	橋爪　洋平	米山　喜平	岡﨑　優 （糖尿病専門外来） 清田　康（第1・3週） 安田　透（第2・4週）	橋爪　洋平 泉山　仁
午後 2:00～5:30	清田　康	須郷　慶一	橋爪　洋平	米山　喜平	高石　智	救急対応

診療時間／（月）～（金）9:00－12:00　14:00－17:30
（土）※　9:00－13:00　14:00-17:30(土曜午後は救急対応のみ)　受付は30分前からです。

面会時間

13:00－20:00

お知らせ

青葉さわい病院広報誌では、皆様のご意見や、
皆様からの投稿を受けつけております。
当院広報誌が、より良いものになるよう、
是非皆様のご意見をお寄せください。
当院に設置されている、ご意見箱、または、
病院広報部宛てまで、ご投函お願いします！

バス　大場町下車（バス停目の前）

●東急田園都市線・横浜市営地下鉄 あざみ野駅

乗り場	系 統	行き先	バス停	所要時間
3番	あ28系	虹ケ丘営業所（もみの木台・虹ケ丘団地経由）	大場町	約5分
3番	あ27系	すすき野団地（もみの木台経由）	大場町	約5分

以下は、本数は少ないですが、大場町に停車します。

乗り場	系 統	行き先	バス停	所要時間
4番	あ29系	田園調布学園大学前	大場町	約5分
5番	た63系	たまプラーザ駅	大場町	約5分

※5～7分間隔 でバスがあります

●東急田園都市線 たまプラーザ駅

乗り場	系 統	行き先	バス停	所要時間
北口5番	た61系	【内回り】元石川高校	大場町	約14分
北口5番	た62系	【外回り】大場町	大場町	約7分

※10分間隔 でバスがあります

●小田急線 新百合ヶ丘駅

乗り場	系 統	行き先	バス停	所要時間
9番	新23系	あざみ野駅	大場町	約20分

※20分間隔 でバスがあります

車

東急田園都市線あざみ野駅より車で5分
※32台収容できる駐車場を完備しております（有料）

～地域の皆様と当院をつなぐ広報誌～

はなみずき

Vol. 34

2018 Autumn

Contents...

・青葉さわい健康フェスタを開催しました
・さわい病院ってどんな病院？
・院長コラム
・ご案内

医療法人社団　博慈会　青葉さわい病院
〒225-0004　神奈川県横浜市青葉区元石川町4300
http://aoba-sawai.or.jp　TEL:045-901-0025　FAX:045-901-0023

地域交流イベント

青葉さわい健康フェスタを開催しました！！

去る6月3日と9月2日、病院としては休みの日曜日に院内１Ｆ部分を開放して地域の皆様に向け「青葉さわい健康フェスタ」と題し、当院初のイベントを近隣のケアプラザさんと共催しました！

６月　開催時の様子

☜ 看護部ブース

看護部長や師長自ら「暮らしの保健室」をオープン！測定や体操前に血圧を測ってもらいながら、日頃の健康のお悩みや最近の体調などを気軽にお話しして頂きました。

栄養相談ブース ☞

普段はなかなか一度にたくさんの方とお話しする機会がありませんが、この日は栄養や食事のちょっとしたお悩みを複数の方からご相談いただきました！

☜ 体力測定ブース

病院の専門職が主導で、筋力・筋肉量と、他では珍しい脊柱管狭窄症の測定を行いました！
長蛇の列ができるほど大人気のコーナーでした！

院長コラム

喜んでもらうこと

人にプレゼントを贈ったときのその反応を見るのが好きです。自分なりに相手のことを一生懸命考えて、何をどのタイミングでどういう風に渡すのか、思いをめぐらせている時間が楽しいです。相手がビックリしたり喜んでくれた時は、それは嬉しいものですし、リアクションが薄かったときはそれなりにガッカリします。食事などの場所選びも同様で、参加してくれる人がいかに美味しく快適に過ごせるかを考えます。なので「この店いいねぇ」なんて言われると、「良かったです」とクールに言いながら、内心ではやったー！と思っています。自分が考えたことで人に喜んでもらえるのは嬉しいことです。

患者さんの治療をする際にも、どういう治療を行うのがこの患者さんに一番適しているかをまず考えます。ちょっと違うのが、どのプレゼントにするか＝どの治療法を選ぶのかは、それぞれの治療法と予想される結果を詳しくお話しした上で、患者さんと一緒に考えて選ぶことにしています。プレゼントをするのと違ってサプライズの要素は必要ないですし、相手のリアクションが薄い＝治療の効果が乏しいとなるのは避けたいです。ある程度お付き合いがある方には、その方に合いそうな治療法をお勧めすることもありますが、特に初めて来られた患者さんなど、お付き合いが短い方にはどの方法が合うのかの判断しかねることもありますのでなるべく一緒に考えるようにしています。そして患者さんと一緒に考えた治療法が、結果として患者さんの「良くなりました！」の声につながったときはやはり嬉しいものです。
みなさまが快適な生活が送れますよう、一緒に考えていきましょう！

◆◆編 集 後 記◆◆

この度、当院は青葉さわい健康フェスタを開催致しました。開院以来初めて、病院を地域のみなさんに開放しての催しでした。さらに喜ばしかったのは、地域のケアプラザのみなさんと協力して開催する事ができた事です。初めての開催でどれぐらいの人数の方に来ていただけるのだろうか、と心配しながら迎えた当日、40人近い方々にお越し頂き、スタッフ一同感激でした。あらためてこの場をお借りして感謝申し上げます。地域包括ケアシステムの必要性がうたわれる中、当院も地域の皆さんの身近な病院として、地域から受診・入院し、地域に帰っていける病院、かかって良かったと喜んでいただける病院を目指していきたいと思います。継続は力なり、この健康フェスタも続けていきたいと思います。皆さんもぜひのぞいてみてくださいね。

青葉さわい病院　はなみずき　有志

看護師：幕内　地域連携室：尾辻、碓井　管理栄養士：山本　リハビリ：宮本、小川、棚澤
看護部長：山口

さわい病院ってどんな病院？

回復期リハビリテーション病棟

回復期リハビリテーション病棟は、整形外科疾患、脳外科疾患、廃用症候群などの急性期病棟での治療後に在宅復帰（ご自宅への退院）を目指して、リハビリテーションを行う病棟です。

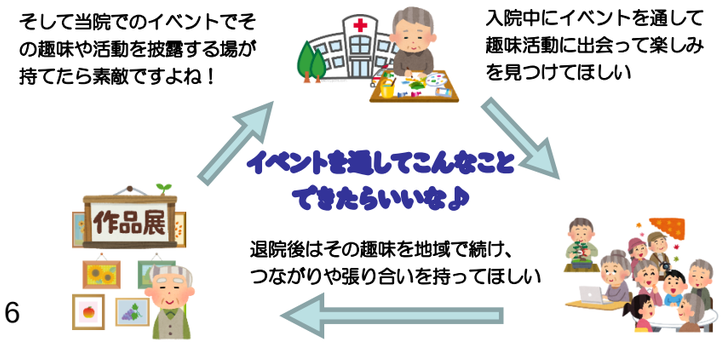
在宅復帰に向けて患者さん、ご家族を中心に医師・看護師・看護助手・PT(理学療法士）・OT（作業療法士）・ST（言語聴覚士）・ソーシャルワーカー・管理栄養士が1つのチームとなり協力して「退院」という目標に向けて取り組んでいます。

回復期リハビリテーション病棟は、階段を上がってすぐの２階にあります。大きな窓があり明るく開放的な雰囲気の病棟です。大きな窓の前が食堂（デイルーム）となっており、ここでは食事はもちろんのこと、様々なレクリエーションも行っています。地域のボランティアの方々もご協力してくださり、折り紙や音楽会、バルーンアートなどを開催しています。

明るいデイルームでの
フルートコンサート

入院中のリハビリテーションを前向きに頑張っていただけるように、明るい雰囲気を作るよう心掛けています。

バルーンアートでは
皆さん盛り上がりました！



青葉さわい健康フェスタ

9月　開催時の様子

☜ すぐに役立つ！健康講座

体と運動の専門家である当院のPT（理学療法士）が栄養のお話しも交えて役立つ知識と健康法などを短時間にぎゅーっと凝縮して講座を開きました。皆さんメモを取るなど熱心に耳を傾けて下さり、アンケートでも好評でした。

☝　9月に行った体力測定の中では、男女問わず、骨密度への関心がとても高かったです！

☝　9月には初めての試みとして専門職のブースを「さわいカフェ」としてリニューアルしました！

☝　もう一つの初めての企画は資格を持つ看護師が提供する「メディカルアロマ」のプチハンドマッサージでした！院内に良い香りが漂いました。

☜ 健康体操コーナー

「体の中から柔らかく」というテーマで、ご自宅でも続けられる体操を皆様にお伝えしました。体操をしながら、質問が飛び出すなど地域の方々の健康への意識の高さが感じられました。イベント中、複数回開催したのですが、どの回も大盛況でした！

次回の「青葉さわい健康フェスタ」は、12月2日（日）に開催します!!!

さわい病院ってどんな病院？

薬剤部

薬剤部では、主に入院している患者さんの薬の調剤、輸液（点滴）の準備及び服薬指導を行っています。内服薬に関しては、持参されたお薬や他のお薬との相互作用や重複投与、および投与禁忌（投与していいかどうか）などの確認をしています。

服薬指導に関しては現在、一般病棟の整形外科に入院している患者さんを対象に、使用する薬剤の説明や質問など、お薬に関する様々なことについて対応しています。

また、副作用などの薬剤に関しての情報を収集・管理して必要に応じて情報を提供するDrug Information（医薬品情報管理）も担当しています。院内では、医師からの薬剤に関する問い合わせに対応しています。

病院薬剤師の仕事あれこれ

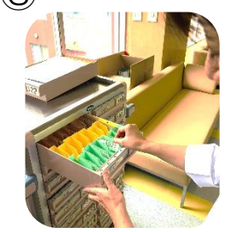
①

入院前に患者さんが飲んでいた薬（持参薬）を確認します。患者さんのデータを入力しながら、持参薬を当院でそのまま出せるもの、代替のお薬が必要なものに仕分けて一覧を作成します。それを基に入院中のお薬を処方していきます。
ここでもジェネリック医薬品が活用されています。

②

薬剤部の中の薬棚から、患者さんに処方する薬を選んで、機械（分包機）を使って、患者さんが一回に飲むお薬を一つの袋に入れて準備します。

③



入院中の患者さんお一人お一人のお薬を１週間分ずつセットします。
一日で全員分のお薬をセットするのは無理なので、曜日で回る病棟を決めてお薬をセットしに行っています。

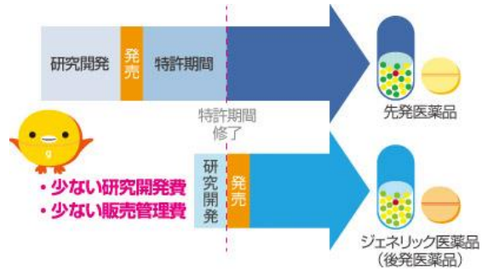
薬剤部からの豆知識
「ジェネリック医薬品」のこと、詳しく知ってますか？

知ってるようで知らない「ジェネリック医薬品」について詳しく解説します。

ジェネリック医薬品とは

新薬と同じ有効成分を同じ量使って作られている医薬品のことです。
薬が新しく開発される時は、開発した会社が“特許”を持っていて、その会社しか製造・販売ができないようになっています。その“特許”の期限が切れた後で、別の会社が同じ有効成分を使って製造や販売をする薬が「ジェネリック医薬品」です。「後発医薬品」と呼ぶこともあります。
（ジェネリックは英語で「一般的な」という意味の単語で、欧米では商品名ではなく一般名（generic name）が使われるのでジェネリック医薬品と呼ぶようになりました）

ジェネリックの方が安価な理由



ジェネリック医薬品は開発済みの薬と同じ成分で作られるので、既に有効性や安全性が確認されています。有効性や安全性を一から確認・開発する費用が不要なので

その分、薬の値段も抑えられるわけです。
ただ、ジェネリック医薬品は元の薬と形状、色、形、添加物などが違うことがあります。これは、飲みやすい形に変えたり、より安定性をよくするためで心配することはありません。一方、元の薬と全く同じ色や形のものもあります。これを「オーソライズドジェネリック」といいます。

見た目の違いに関わらず、今まで服用していた薬と同じ効果で値段だけが安くなります。皆さんのお財布にも優しく、医療費削減にも一役買っています。ただ、発売後間もない新薬にはジェネリック医薬品はありませんので、ご注意下さい。

現在、ジェネリック医薬品は全国的に普及しています。変更したいと思った時は、一度かかりつけの先生に相談してみてください。